

令和6年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【小学校】

下松市教育委員会

1 結果の公表 にあたって

令和6年度「山口県学力定着状況確認問題」は、児童生徒の学力の状況や生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。また、一昨年度から、1人1台端末（タブレットを使用したCBT方式）での実施となっています。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、引き続き、学校と家庭・地域が連携・協働し一体となった取組を推進してまいりますので、御協力をお願いします。

○ 実施期日

- ・令和6年10月16日（水）～10月18日（金） 小学校5年、中学校1年
- ・令和6年10月11日（金）～10月16日（水） 小学校6年、中学校2年

○ 実施内容

小学校5、6年生 国語、算数（※小学校5年生は理科も実施）



中学校1、2年生 国語、数学（※中学校2年生は理科、英語も実施）

2 教科に関する 問題の結果について

【国語】 5年生・6年生とも、県平均正答率とほぼ同程度である。

【算数】 5年生・6年生とも、県平均正答率を下回っている。

【理科】 県平均正答率とほぼ同程度である。

→5年生は、国語、算数とも、記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）の正答率に課題が見られましたが、6年生は改善が図られつつあります。また、問題によっては基礎的な内容が身につけていないところもありました。引き続き、記述問題に取り組む場面を増やし、基礎的な内容の確実な習得を図る必要があります。

◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

国語

- ◎ 慣用句の意味を知り、日常生活でも使うこと（5年）
- ◎ 文の中における主語と述語の関係を捉えること（6年）
- ▲ つながりを考え、適切な接続語を用いること（5年）
- ▲ 取材内容をもとにして、自分の考えをまとめること（6年）



算数

- ◎ 分数の意味を理解し、基準となる1を数直線上に表わすこと（5・6年）
- ◎ 上から2けたの概数の意味を理解し、数値に表わすこと（5・6年）
- ▲ 折れ線グラフから適切な情報を読み取ること（5年）
- ▲ 面積の大小を判断し、その理由などを記述すること（6年）



理科

- ◎ 受精にかかわる用語を正しく使うこと
- ◎ 半月の動き方について、正しく方位を理解していること
- ◎ 発芽の条件について、種子を水に沈める意味を理解していること
- ▲ 昆虫は、頭、胸及び腹からできていることを理解していること



3 課題の見られた問題例

国語 接続語を用いることをみる問題

【5年・6年】

1 〈北山さんと大田さんの文章〉抜粋

山口市の「瑠璃光寺」の五重塔は、今から570年前以上に、山口をおさめていた大内氏というの様が建てた歴史ある古い建物です。 、今も美しいすがたをしています。それは、多くの人が瑠璃光寺を守るために活動しているからです。その中の一人が、瑠璃光寺の屋根を守る職人の方です。

(2) 北山さんは、【北山さんと大田さんの文章】の に、文と文をつなぐ言葉を入れることにしました。最も適切なものを、次の中から一つ選びましょう。

- つまり しかし 例えば または

※ (2)の問題は、5年生・6年生とも同じ問題が出題されています。6年生は、正答率が81%で県平均正答率を上回りましたが、5年生は、正答率が68%で県平均正答率を下回っています。

算数 条件を基に、適切に余りの処理をする問題

【6年】

2 あかりさんは、お母さんとスーパーマーケットで10kgのお米を買うとき、次のように考えました。

私の家では、1日に4合のお米を食べているけれど、10kgのお米は何日分になるのだろう？

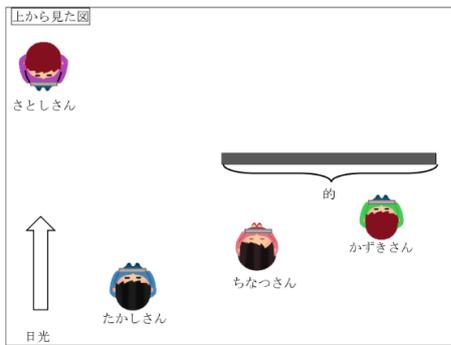


(3) あかりさんは、次にお米を買いに行く日を決めようと考えました。あかりさんの家で10kgのお米を毎日4合ずつ食べ続けたとき、お米が足らなくなるのは何日目ですか。整数で答えましょう。4合…600g

※ 県平均を下回り、14%の正答率でした。

理科 はね返した日光が直進することを位置関係から推測する問題

【5年】



8 【動画あり】

(1) 動画のように、さとしさんがはね返した日光を鏡を使ってはね返した時、その場で鏡を動かして的に当てるのができたのはだれですか。次の中からすべて選びましょう。

- ・ たかしさん
- ・ ちなつさん
- ・ かずきさん

※ 県平均と同様に正答率が低かった問題です。(28%)

4 今後の取組

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化
(学力向上プランの重点化、教科・学年の枠を超えた研修の推進等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善
(誤答分析を生かした授業改善、「キラリくだまつ授業づくり」の活用等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(「育成すべき資質・能力を確実に育む授業改善、「やまぐち学習支援プログラム」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクール、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした学習支援
(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」に基づいた授業改善の推進
- 授業における「振り返り」活動の推進
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定